

なきごえ



1976

4

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

昆虫研究50年 大倉正文

私は動物が好きだ。今も犬と猫を1頭ずつ飼っている。この犬は雑種である。というのは、何度も百貨店や鳥獣店から柴犬を買ったが、その都度ジステンパーで死なせてしまった。買ってきてすぐに獣医に予防注射をしてもらってもだめで、買う以前に既に感染してしまっているらしい。それでもう犬は飼わないと決めていたが、4~5年前に1頭の子犬が庭に迷いこんできた。というよりは、誰かが石垣の上の庭へ入れていったらしい。まん丸い子犬で、娘達もかわいそうだから飼ってやろうということになった。ところが、思春期になると近所の犬が石垣をどびあがってやってくるので、家の中へ入れたのがきっかけで、今では全くの家族の一員となってしまった。食事の時も食卓の横にチョココンとすわり、夜も私達の布団のうえで寝る始末である。

犬の話はこの辺にして、子供のときから好きであった昆虫の蒐集と研究は未だに続けている。夕方になるとブリを持ってギンヤンマを追いまわしたところから50年、その対象はいろいろ変ったが、戦後30年間は甲虫のみに限ってしまった。

私に昆虫採集の基礎を教えて下さったのは虫のオジさんとして親まれていた中林馮次先生である。中林先生が定年退官され、大阪へ戻ってこられ、採集会の指導をされていたのに参加したのがはじまりである。オサムシ類の冬期採集の手引きを受けたのも中林先生からであった。

このころ先生を中心として作られた「植物と昆虫の会」には毎月欠かさず出席して知識を深めるとともに、そのお手伝いもした。この会は城北公園の昆虫館で毎月開催されたが、その行き帰りに淀川の川原で昆虫を採集するのも楽しみの一つであった。そのころの川原には、あちこちに池があり起伏も多く、草をかきわけて多くのゴミムシ類が採集できた。この会を通じて後藤光男・河野洋・伊賀正汎君らと知り合い、いまだに深い交際を続けている。

なきごえ4月号もくじ

動物と私	2
カムリクロザルの赤ちゃん	3
動物園グラフ	4・5
動物ばなし	6・7
天王寺のどうぶつたち(12)	8・9
獣医室から⑧	10
動物園ニュース	11



戦禍がひどくなったころは採集どころではなく、折角作った標本も針を抜いて1頭ずつ紙包にし、それを標本箱5つ位に詰めて、空襲警報のたびに持ち出したものである。多くの標本を戦火で焼失したが、オサムシ・ゴミムシの標本だけは無事に現在も手許に残っている。

終戦と同時に、前記3君のほか林匡夫君を加え、近畿甲虫同好会を昭和20年に設立した。現在の日本甲虫学会の前身である。翌年初めて出した会報は、用紙がなくて茶色の包装紙に印刷して発行したような状態であったが、その後文部省から用紙の割当を受けられるようになり、体裁もととのうようになった。現在は才28巻まで発行し、国内は勿論、海外でも認められるまでに成長した。

採集の方は、仕事の関係上あまり遠出はできず、もっぱら近くの野山を歩く程度にすぎない。最近では自然保護が盛んに叫ばれるが、梢に産みつけられた珍しい蝶の卵ほしきはその木を切り倒したり、食草を根こそぎ持ち帰るようなひどいことさえしなければ、人間が採集する数はしれていると思う。それよりも農業や薬剤の空中散布、宅地開発が、昆虫の棲息場所をどんどん奪ってしまっている。

百貨店で買ってもらったカブトムシが死んで動かなくなったので、電池を入れ替えてくれといったとかいわないとか、現在の都会の子供達は自然に親しむ機会の少ないことを、つくづくかわいそうに思う今日このごろである。

(日本甲虫学会代表幹事)

表紙の写真説明

「トキイロコンドル」
メキシコからアルゼンチンにかけて生息するコンドルで、オレンジ色のかざりのついたはでな顔つきをしています。

(撮影：宮下実)



“カムリクロザルの赤ちゃん”

昨年12月19日に生まれたクロザルの赤ちゃんは、もうこんなに大きくなりました。母親は3回目のお産だけに、じょうずに育てています。(撮影：宮下実)

動物園グラフ

“春眠あかつきを覚えず”

春の訪れと共に動物も人間同様眠くて眠くて仕方がない

のです。(撮影：宮下実・長瀬健二郎)



↑ライオン なんと寝ぞうの悪いこと



↑アカカンガルー いい天気だな



→タヌキ
これぞまさにタヌキ寝いり



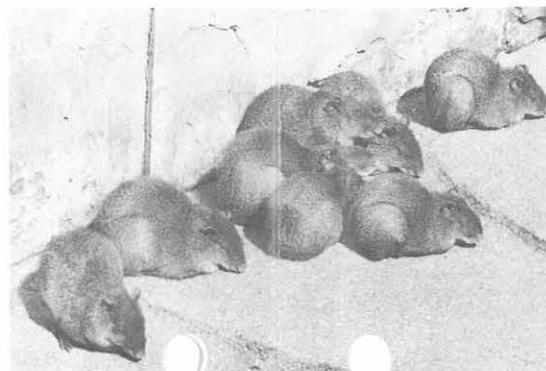
↑アシカ 一列にぎょうぎよく



←寝ぞう悪いよ
フタコブラクダ



←マレーグマ 眠いなあ



↑アグーチ まって寝るのさじゃない



→カバ
グーグー

2・3月の動物園日記

- 2/23. ヤギが2頭生まれました。
京都動物園からインドニシキヘビ2頭の寄贈を受けました。
25. カピバラが皮ふ病のため治療中です。
27. アライグマが交尾しました。
イワトビペンギンが産卵しました。
29. オランウータンのユキが元気、食欲共なく心配です。
- 3/1. エランドのオスが腎不全と腸炎で死亡しました。

イワトビペンギンが2卵目を産卵しました。
ヤギが2頭生まれました。

3. ホロホロチョウ3羽の寄付がありました。
4. カナダヤマアラシが右ひじの部分で化膿させていたので治療を始めました。
6. マンドリルのメスの下唇が2cmほどさけてしまいましたので、捕えて縫合しました。
7. ヤギの胃内にビニールが停滞して苦しがっているので、オ一胃を切開してビニールを除去してやりました。
8. アカカンガルーのオスが右足首の化膿が悪化して敗血症をおこして死亡しました。

9. キリンの仔がオス2頭なので1頭を出園させました。
10. メンヨウが1頭生まれました。
2月18日に入園したジャッカルメスと当園に前からいるオスを初めて一緒にしました。
12. オランウータンのユキが鞭虫をわかせているので駆虫薬を与えました。
13. カモハクチョウのメスが他の鳥からつつかれて死亡しました。
ピューマのオス、メスを同居させました。
14. 中国の西安動物園関係者一行5名が当園を訪れ、園内をくまなく見学しました。

- オセロットの下あごが少しはれているので治療を始めました。
15. 猛獣脱出を想定しての捕獲訓練を全職員参加のもとに実施しました。
16. WWFのPR展を本日から開幕しました。
メンヨウが1頭生まれました。
17. 米国のサンディエゴ動物園へタヌキを4頭贈りました。
18. メンヨウが1頭生まれました。
20. 飼育研究会を行い、先日行われた近畿ブロック飼育者講習会の研究発表の内容説明がおこなわれました。

動物ばなし

杉野久雄

1. プラナリア

私が過去47年間もプラナリアという下等動物を友として暮してきた。これは谷川や大河の岸近くの小石の下にすむヒルのような虫である。この虫は頭を切っても頭が生えてくるし、からだをまっふたつに縦に引き裂いても、なくなった半分が生えてきて、も



と通りのものが二つ出てくる。

図1. 左プラナリア、右、1ミリの長さで切った、場所を換えてまたつなぎ合わせたもの。

私はこの虫の頭を切って、他の虫の別の場所に植えつけたり、1ミリきざみにして場所を換えてまた癒着させたり、虫にとっては実に暴虐の限りをやってきた。ただこの虫は切っても死なないので、殺りくしているという気がおこらないのが救いであった。

プラナリア (*Dugesia japonica*) では染色体異常がおこりやすく、染色体数が3倍の細胞 ($3n=24$) を多く含む虫が汚水に対する抵抗性が大きく、2倍の細胞 ($2n=16$) ばかりの虫は汚水に弱く、清水にしか住まない。いま日本全国の河川にすむプラナリアの染色体をしらべている。

2. オオカミについて

オオカミはトラ、ライオン、ヒョウなどと共にまことに立派な顔とからだつきをもっている。たとへばアラスカのシンリンオオカミの顔と人間の顔とをならべて、オオカミよりも立派に見える顔の持主はすくないと思う。こう書くと、人間様を侮辱したように見えるが、そんなつもりはない。人間の干渉を排して独立独歩の暮らしをしているけもの共は、人間の、多年荒海を乗り切った漁夫、戦乱の中を戦い抜いた将軍、権謀術策の渦巻く政界を泳ぎ切った大物の先生方に匹敵するような風貌をそなえている。

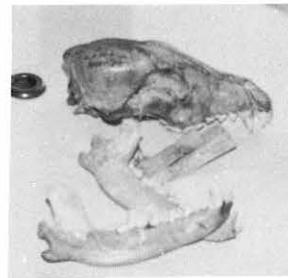


図2. 上、明治38年1月奈良県東吉野村小川(鷲家口)でとれた日本最後のニホンオオカミの頭骨、下、同じくその皮、昭50・8・15大英博物館自然科学部標本室で筆者撮、下顎は左右割れていた。

私はこれらの野獣に敬意を払うと同時に、かつて地球上で勇敢に戦いながら戦い利あらず敗れ去った野獣

達に限りない愛惜の念を持つものである。

昨年7月ロンドンの大英博物館でドド、ウミガラスの剥製標本を見た。どちらも羽が退化しているので人間にとりつくされた。ニホンオオカミはこれらのだらしな鳥共とはわけがちがう。彼等は人間と共通の餌を求めたので、兵糧攻めにあつて滅ぼされたものと思う。8月15日にニホンオオカミの頭骨と皮の写真をとらせて貰って、渡英の第1の目的を達したときは案内の事務員に知る限りの英語をヒネリ出してお礼を申し述べた。

3. ネッシーのこと

私の興味は、絶滅した動物から更に拡がって、人間が創造した動物に及ぶ。これらに対するときは、科学的態度をかなぐり捨て、野次馬にならねばならぬ。



図3. 昭和50年8月4日ネス湖の岸に立つ筆者

1月17日に天王寺動物園でいきもの趣味の会の会合があった。その席で私はネッシーについてテーブルスピーチをやった。帰宅すると、ロンドン大学の

ウォルステンクロフト教授からの手紙が届いていた。その一部を訳すると、「貴公はネス湖の怪獣についての最近の記事を読みましたか?それらは示唆に富んでいるが、尚これを疑う人が多い。特に次の記事が出てからは尚更である。Nature 誌に怪獣の学名を *Nessiteras rhombopteryx* とした論文が出た。この文字を組み換えると“Monster hoax by Sir Peters”と読めることを発見してサンデータイムスに投書した人があります」。(杉野註文字をならびかえて別の意味の語を作る遊びをパラグラムという。)上の意味は“ピーター卿によってでっち上げられた怪獣”ということで、ピーター・スコット卿はネッシーの研究家であり、昨夏のポストン科学アカデミー調査隊の有力な後援者であった。イギリスにはスコット卿の外にティム・デインスデル、ワイト夫人などの狂信的な研究家が居り、その上、多くのスコットランド人はネッシーがネス湖に居ることを望んでいる。

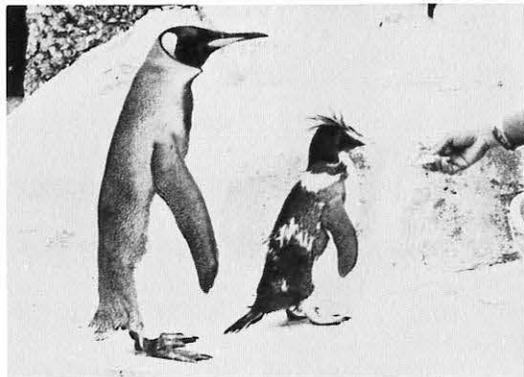
日本にたつ年があり、日本人の心の中に多くのたつが生きている如く、私もネッシーの健在を願うと共に、スコット卿その他の方々の健闘を祈るものである。

(大阪教育大学名誉教授)

天王寺のどうぶつたち (12)

イワトビペンギン

ようやく動物の名を言えるようになった小さな子供達がまず初めにおぼえるのはワンワンやニャーニャーでしょう。それからもう少し大きくなるとライオンさん、キリンさん、ゾウさんがわかるようになって、その次位におぼえるのがペンギンではないでしょうか。モーニングを着て、ヨチヨチ歩くその姿はとてもかわいらしくて小さな子供達の心にも深く残るものだからでしょうか。



キングペンギンとイワトビペンギン。
こんなに大きさが違います。

さて、今月お話しするのはイワトビペンギンですが、ペンギンという鳥には世界中で17種もあって、一番大きな1m 20cmもあるエンペラーペンギンから一番小さな30cm位のコビトペンギンまでさまざまな大きさをしています。この中で、イワトビペンギンはペンギンとしては普通の体格で、立つと背の高さは約60cm、体重が2.5kg位です。目の上に房状の黄色

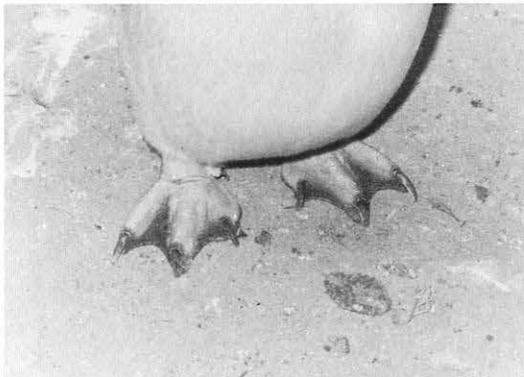


この目の上のかざり羽がイワトビペンギンの特徴です。

い羽が生えているのが持ちょうです。このかざり羽は10cm近くあります。「イワトビ」というのは英語名の直訳なのですが、他のペンギン達がヨチヨチと歩くのに比べ、このペンギンは両足そろえて岩の上でも平気でピョンピョンとはねながら進みます。陸にいる時、すごい嵐などが来るとそれをさけるため、鋭い爪で岩をのぼり安全な風の来ない所に身をかくしたりもできるそうです。

ペンギンというと南極大陸にしかいないものと思われがちですが、実際に南極大陸だけで繁殖するのは17種のうちの2、3種だけです。他の大部分のペンギン達は南極大陸の周りの島々や南オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカにまで住んでいて、ガラパゴスペンギンなどは赤道直下のガラパゴス諸島に住んでいます。イワトビペンギンの場合は「亜南極圏」といって、南極大陸を取りまいている島々、ハード島、フォークランド島、トリスタン・ダ・クンハ島などに住んでいます。

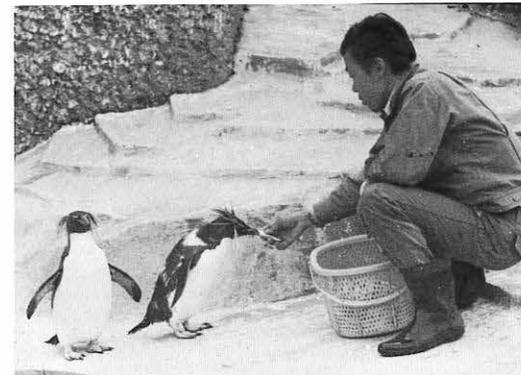
ペンギンは捕鯨船などで連れてこられるのですが、



鋭い爪と水かき。この足で岩をのぼり、水中を魚のように泳ぎます。

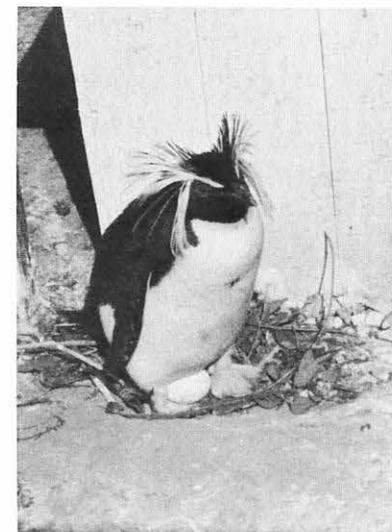
野生のものでやはり人が与える魚をすぐには食べようとしません。こういう時は「さし餌」といって、人がクチバシを開けて無理やり魚をペンギンの口の中に押し込んでやります。こうして段々にならします。普通の動物園などでよく見かけるフンボルトペンギンなどはなれるとプールにアジなどを

まいてやるだけで勝手に拾って食べるのですが、イワトビペンギンの場合はなれてもなかなかさし餌のくせが抜けません。今、天王寺で飼われている8羽も、みな、担当の浅田さんが手で口の前に餌のアジを持って行ってやらないと食べません。こんなに手のかかるイワトビペンギン達ですが、浅田さんにとってみれば手がかかるだけ愛情も湧くというもので、お客さんから見ればどれも同じに見えるペンギン達ですが、浅田さんが見ると8羽全部がそれぞれ違った顔や姿をし、違った個性を持っているそうです。



親代りの浅田さんからアジをもらう
イワトビペンギン

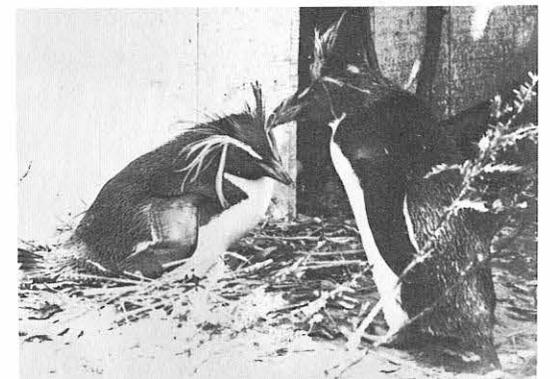
また、歩いて行く後姿を見ただけでもどの個体かすぐ判るそうです。ペンギン達もこの浅田さんの愛情がよく判るのか、浅田さんがペンギン舎の中に入るとみな寄って来て歓迎します。この熱心さが去年ようやく実を結んで産卵が行われました。イワトビペンギンの産卵は日本で初めてのことと思われましたし、ヒナが生れた事も一度もなく、動物園のすべての人がヒナの誕生をいまかいまかと心待ちにしていたのですが、おしくも無精卵でヒナはかえりませんでした。がっかりした浅田さんをみんなで「又、来年があるよ」といってなぐさめたのでした。そして今年の2月25日と3月1日に待ちに待った2度目の産卵が行われました。去年は初めての産卵のせいか卵は1個だったのですが、今年は2個の卵がうまれました。巣は去年産卵したのと同じ場所で、



大事に卵をあたためる
イワトビペンギン。

プールの南側の日当りのとても良い所です。少し凹んだ場所で、そこへよしよしや羽毛を持ち込んで両親が一先けん命に作ったものです。卵はたて7cm、よこ5cm、重さ70gで大きめのニワトリの卵位の

大きさです。産卵したての頃は4日間雄がだし、次の4日間は雌があたためるというふうだったのですが、それがだんだん短くなり、初めの産卵から30日位たつと大体1日置き位で交代して卵をあたためています。あたためている間は両親とも絶対にエサ



1羽が卵をあたためている間、もう1羽も、いつも近くに付き添っています。

を食べません。この努力が実ってかわいいヒナが早く誕生しないかと浅田さんはやきもきです。おそらくこの雑誌が皆さんの手に届く頃には、天王寺動物園ではかわいいイワトビペンギンのヒナ達がピーピーとさえずっていることと思います。

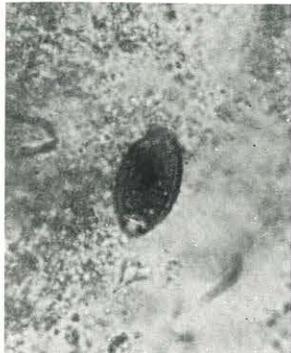
(飼育課長 瀬 健二郎)

獣医室から⑧

寄生虫症二例

にがい薬なんてもうイヤ!

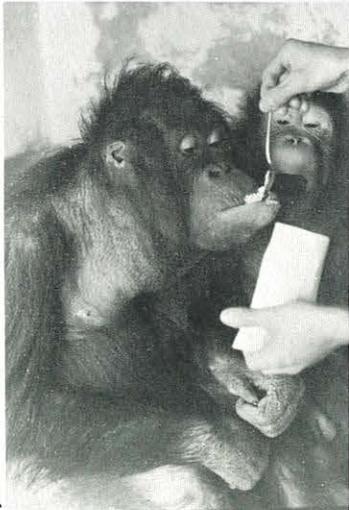
オランウータンのユキ(9才)が2月末頃から食欲不振でどうも元気がありません。微熱も続いているので軽いカゼでもひいたのだらうと思っていたのですが、カゼ薬を与えても一向に良くなりません。いろいろ検査してみましたがなかなか分らず、まさかと思って検便してみると鞭虫の虫卵が見つかりました。鞭虫というのは主に盲腸に寄生する寄生虫で



鞭虫卵(顕微鏡写真)

すが、どうやらこの寄生虫によって元気をなくしたようです。毎年春秋に検便をしていますが、今まで寄生虫をわかったことがないだけに予想外でした。さっそく駆虫することにしたのですが、この駆虫薬、にがいのなんの、私もなめてみましたが、そのにがさにおもわず吐き出したほどです。それでもこの薬を飲んでくれないと困りますので、担当の大東さんが2時間も付きっきりで、なだめすかしながらようやく飲ませることができました。後でごほうびの干しブドウをも

らっていましたが、こんなににがい薬はもう絶対にいやだという顔でいらんでいました。その後はこの薬を飲んでくれそうもありませんので、薬の種類を変えて与えましたが、



おかげで3日後には寄生虫もすっかりおりました。以前の元気よさにもどるのもまもないことでしょう。かゆくてたまらない。!

2月18日に1つがいのカビバラが入園しましたがこれはげっ歯目といってネズミやリスの仲間で、成長すると50kg位の体にもなり、げっ歯目の中では最大の動物です。この2頭はまだ6kgと非常に小さく、人にもよくなっています。入園した翌日、皮ふの一部が赤くなって脱毛しているのが分り、体をかゆそうに、さかんに壁にこすりつけます。なれているのを幸い、抱きあげて体の表面を調べますと、首すじがかさぶた状のものでびっしりおおわれています。さっそくその部分をこすり取って顕微鏡で検査しますと、ダニの一種で疥癬かいせんという皮ふに寄生するものが見つかりました。こんなものが寄生していればかゆいはずですが。ほうっておけば皮ふの炎症や化膿をおこしますので、すぐ薬をぬってやることにしました。1頭はよくなれていて、わりと薬に薬をぬれるのですが、もう1頭はすごい暴れん坊で、押えこむ



のに四苦八苦です。それでも薬がきいたのか、1週間でかさぶたがきれいに取れ、疥癬も死滅したらしく検出されなくなりました。まだ室内の暖房の入る部屋に入れてありますが、4月の暖くなった頃には戸外に出して入園者の方々にお目見えすることができるでしょう。

(飼育課 : 宮下 実)

夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



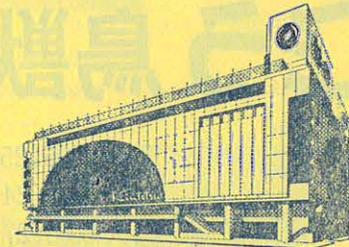
上本町近鉄 TEL.(06)779-1231



アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111



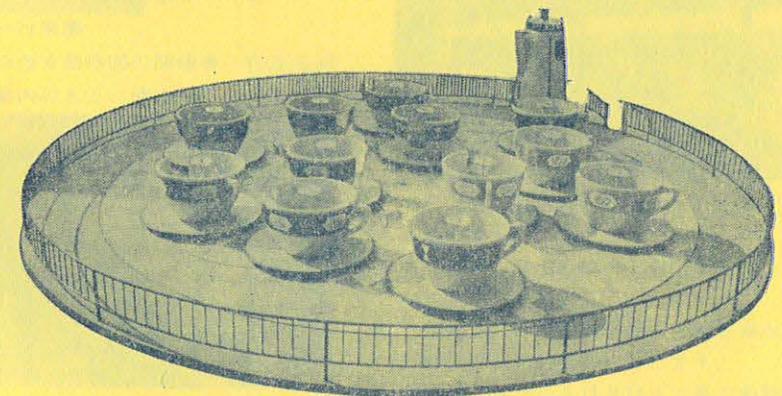
奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111



東京近鉄



遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

世界の猫、小鳥と愛玩動物専門店

はく製製造卸・直輸入動物取扱い店
各国、犬種・シャム猫・ペルシヤ猫

大阪市南区心斎橋1丁目38

⊗ そごう 鳥獣部

そごう百貨店屋上 直通TEL

大阪06(252)5497
(241)9146
大阪06(271)2221
内線 2554



動物園ニュース

☆イワトビペンギンの産卵

イワトビペンギンが2月27日にオ一卵、3月1日にオ二卵を産卵し現在オス、メスが交代で抱卵しています。昨年産卵しましたが惜しくも無精卵だっただけに、今年こそはかわいいヒナが誕生してほしいものです。うまくいけば4月10日頃にふ化する予定です。



☆メンヨウ、ヤギの出産相つぐ!

春の訪れと共に動物も出産ラッシュが予想されますが、その先陣をきってメンヨウが3月10日、16日に各1頭生まれました。3頭共すくすくと育っており、トリオ・ザ・メンヨウに皆さんの人気も上々です。又、隣のヤ



ギも、2月23日2頭、3月1日1頭と3頭誕生しており、メンヨウに負けじと「三匹の子ヤギちゃん」で対抗しています。

☆中国西安動物園一行来園

3月14日、中国の西安動物園の関係者一行5名が当園を訪れ、園長案内のもとに園内をくまなく見学しました。一行は姉妹都市の奈良市にタンチョウを運んで来た帰途、当園を訪れたもので、今後当園との交流も深まることでしょう。



☆米国サンディエゴ動物園へタヌキの寄贈

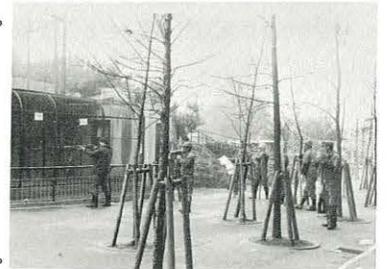
昨年サンディエゴ動物園より、当園の60周年記念のプレゼントとしてシンリンオオカミ、コヨーテ各一番いが贈られて来ましたが、この返礼として当園



からタヌキ2番いを、3月17日に贈りました。タヌキはアジア特産の動物だけに、アメリカではその愛くるしい顔にかなり人気ができることでしょう。

☆猛獣脱出想定捕獲訓練

猛獣が脱出したとの想定で、その捕獲訓練が3月15日行われました。午前10時半、中獣舎よりシンリンオオカミが脱出したとの想定で、警報発令のもとに全職員が持場に急行し、30分後に無事捕獲訓練を終了しました。この訓練は年1、2回行う予定で、連絡の円滑と各自の担当役割を明確にすることが目的です。



☆WWFのPR展開幕

(3/16~3/18)

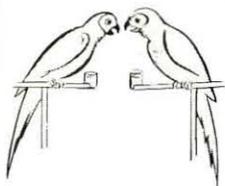
動物園における動物保護の使命をPRするためにWWF(世界野生生物基金)の日本委員会の協力のもとに、WWFの趣旨、活動、成果を写真やパネルで紹介するWWFのPR展が北園展示館で開かれています。この催しによって入園者の方々が野生生物の現況についてもっと知って頂ければと思います。

○(おもちゃ出品協力:吉田平七郎氏)

◎お知らせ

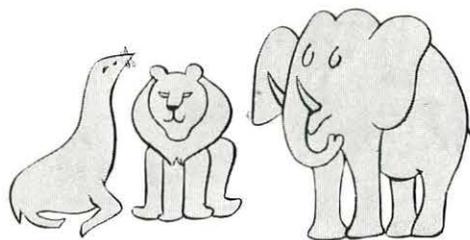
4月18日に北園展示館にて日本鶏保存会主催のもとで日本鶏品評会が行われます。4月25日から5月9日まで春の動物園まつりが開かれます。期間中はオランウータンの演技や動物無料相談など、もりだくさんの催しものが予定されています。なお、期間中の日曜、祭日は駐車場がすぐ満車になりますので、電車、バスでお出かけ下さい。4月の休園日はオ三月曜日の19日です。

なきごえ 昭和51年4月15日発行 (毎月1回15日発行) 第12巻第4号(通巻128号)
 編集/大阪市天王寺動物園 〒543 大阪市天王寺区玉水町2
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種 | 枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員 < 小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗 >
 < 深井 和美・東 政宏・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・農本 武志 >